

入塾趣意書

小薄潤弥

明治維新、第二次世界大戦といった、時代に大きな変化を生んだ出来事を経て、日本は世界各国に負けない国を築いてきた。当時は日本人全体が「生きる力」を強く持っており、若者たちが命を賭してまで守り抜いた日本を支えようと必死に人々は革新を求めてきた。しかし近年では、日本の活力が落ちてきていると感じる。想いを持った実行力のある人材が減少し問題も放置され、世界との差が大きく開く一方である。このような現状を打開していくために私は強き志を持ち、成し遂げることを決めた。

私の志は「世界中の子どもたちが心身ともに安心して夢を持てる世界の実現」である。理由は、心身共に平和で、子どもたちが安心して夢を持てる環境づくりを行なっていくことで、一人ひとりの夢が達成された時、より良い日本及び世界が実現できると信じるためである。しかし、私の住む地域含め現状国内では地域と都市部とで日常的に触れる機会や知識に大きな差が生まれており、地域の子どもたちが夢を実現するためには都市部へ行かなければ叶えられない状況や、環境や慣習的に夢が持ちづらい実情が多々ある。また、高齢化や人口流出が顕著な地域では、限界集落化し地域の存続すら危ぶまれている。果たしてそのような現状は平和と呼べるものだろうか。命を燃やしてまで先人たちが守り抜いてきた日本が100年後も夢溢れる国で在り続けるためにも、地域が抱える問題を解決し、そこで育つ子どもたちが安心して夢を持てる社会を実現したい。そのために、地域が継続して潤っていく事業を確立し、ビジネスを通して地域を活性化、そして日本全体の底上げを狙いたい。

具体的には、「①地域内経済を潤しファンづくりを意識した観光動線の確立」、「②まちと活躍する事業者を広く認知してもらうための広報発信強化」、「③まちをより良くできる人材と知識が結集する地域内コミュニティの連携強化」の3つを中心とし、地域の自走化と雇用を生み出せるよう尽力したい。まだまだボランティアありきで地域活性化を行っている人材が多い中で、ビジネス目線で何事も捉えていくことが重要である。そうでなければ、継続した支援も行えず、雇用も生まれず、人だけが疲弊・高齢化する悪循環へ陥ってしまう。それゆえ、しっかりとしたビジネス設計を行い、地域の存続と、観光客・移住者共に愛されるまちづくりを行う必要がある。

私の志が成し遂げられると、地域格差が少なくなり、子どもたち自身で自由に人生を選択でき、より生き生きとした毎日を過ごすことのできる社会へ生まれ変わると確信する。また、地域でできることの幅が増え、活性化に取り組む人も増えるため、挑戦機会も多くなり、地域全体がエンパワメントしていくに違いない。私は一つの地域だけを活性化するのではなく、成功事例の横展開を行い、国や自治体との連携も強固にすることで、日本人全体で日本を盛り上げる姿勢へと転換させたい。

この志を達成するために、私は松下政経塾へ入塾し、「自ら考え自ら行動する意識や経営脳を養い、現地現場に立ち最前線で戦うことで、核となるリーダーとしての姿勢を確立すること」を目的とし果たしたい。現状、私は挑戦心、業務遂行力、コミュニケーション能力の3つを兼ね備えている。そのため、新たな取組みを提案・実行し、様々なプレーヤーと積極的に関わり連携し、最後まで諦めず成し遂げることができる。その上、松下政経塾で学ぶことで、地域内外の人を巻き込み、組織化し経営する上での決断と責任を持ち、人づくりとまちづくりの力を備えたリーダーとして確立したい。また政治面と経営面の両軸から考えられる力を身につけたい。以上の能力を持ち活かすことで、問題解決はもちろん、より幅広い地域の可能性を見出し、住民や観光客へ新しい取組みや施策を展開する力に寄与できると考える。

より良い日本を作っていくために私は松下政経塾に入塾し、志を成し遂げることに尽力することを誓う。